

令和5年度

浦庄小学校 「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

「聴く・話す・学び合う」力を定着させることによって、主体的に学習する児童を育成する。

学力向上検討委員会構成

校長

山川 育英

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○言語に対する知識・理解や四則計算の力が定着しつつある。 ●上の学年に進むにつれて、学力の差が広がる傾向があり、文章の内容を正確に把握する力に課題が残る児童がいる。	・漢字の読み書きや四則計算などの基礎的・基本的な学力が確実に身に付いている。 ・身に付けた知識や技能を、他の学習や生活の場面において活用することができる。	・ドリル学習などを活用して一人一人の定着度を確認しながら、基礎的な学力の向上を図る。 ・「浦庄小学習の約束」に全校で取り組み、辞書の活用や視写、言葉集めなど語彙力を高める。 ・ICTの活用や児童用タブレットの有効な活用を研究し、分かりやすい授業を展開する。			

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業中まじめに学習に取り組み、自分の考えを表現したり、友達の意見を聞いて考えたりすることができる児童が多い。 ●自分の考えや思いを筋道を立てて話したり、複数の考えから新しい考えを創造したりすることに課題がある。	・目的に応じて、根拠や理由を明らかにしながら、自分の考えを豊かに表現することができる。 ・自分の考えと友達の考えを比べながら聞き、自分の思いや考えを明確にしたり深めたりすることができる。	・ペアやグループ学習の機会を設定したり、ワークシートや思考ツールを活用したりし、学び合う授業について研究・実践する。 ・日記や作文、ノート指導、新聞活用などを通して、自分の考えを書く機会を増やす。 ・全校で週末読書に取り組み、読書活動を充実させ、長文読解や初めて読む文章に慣れさせる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題にきちんと取り組むことができる児童が多い。 ●自ら自分に合った課題を見つけ、主体的に学習ができる児童は少ない。	・課題解決に向けて各教科の学習に主体的に取り組むことができる。 ・自分の学習を振り返り、自分に合った課題を見つけたり、自分で考えて判断したりすることができる。	・発達段階に応じた発表の仕方(浦庄スタイル)を継続し、学び合う授業ができるようにする。 ・児童の意識の流れに沿っためあてを提示し、発問を工夫することにより児童の多様な考えを引き出す。 ・家庭学習の手引きや自主勉強のよい見本を示し、学習習慣の定着や内容の充実を図る。			

令和5年度 学力向上ロードマップ

